



とのやま



【学校教育目標】生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成

【目指す生徒像】自立のために自律できる生徒

富士見台中学校HP

「自律」は未来を切り拓く鍵

夏季休業日中の三者面談について、学校からは、日常の生活、学習の様子を中心にいろいろとお話しさせていただきました。お子さんは、担任や保護者の皆様と一緒に1学期の生活や学習を振り返ることで、新たな目標を立て計画的に夏休みを過ごすことができたなら何よりです。また、ご家庭での様子やお悩み、学校への貴重なご意見なども頂戴し、大変有意義な時間となりました。暑い中ご足労をいただき、ありがとうございました。

以下、始業式で話した内容を掲載します。

(前略)

「わかっているけれど、できない」。そんな経験は誰にでもあるものです。たとえば「毎日、自分で決めた時間にきちんと家庭学習をしよう」と思っても、それを続けるのは簡単ではありません。人は、つい楽な方に流されてしまうものです。

しかし、あえて苦しいことに挑み、それをやり遂げる力。それが「自律」です。楽なことや楽しいことには気持ちが向きやすく、反対に大変なことや退屈なことにはなかなか取り組みません。そんなとき、自分の気持ちを切り替え、やるべきことに向き合う力が「自律」です。

「律」という字には「決まり」や「ルール」という意味があります。つまり「自律」とは、自分で決めたルールを自分自身に守らせる力のことです。たとえば「毎日英単語を5つ覚える」と目標を立てるのは素晴らしいことですが、それを継続するには「自律」が必要です。

この夏、メジャーリーグで殿堂入りしたイチローさんは、成功の理由について「日々の練習や準備が大切」「継続こそが達成の土台」「本気でやるなら、どうすれば達成できるかを真剣に考える」と語っています。彼が成功したのは、これらを「知っていたから」ではなく、「実行し続けたから」です。1学期の終業式では、イチローさんが高校時代、毎日10分の素振りを3年間続けたという話も紹介しましたが、まさに自分で自分に守らせた「自律」の力です。

どんなに素晴らしい目標があっても、実行しなければ意味がありません。イチローさんは、これらの言葉を日々の行動に落とし込み、自らに課し続けたことで、成功することができたのです。

2学期が始まりました。皆さんはこれから、自分自身や所属する集団の目標を立てると思います。その目標を実現するには、自分と向き合い、意志を持って行動する力が求められます。

「自律」。この力こそが、皆さんの未来を切り拓く鍵です。本校の目指す生徒像は「自立のために自律できる生徒」。2学期は、これまで以上に「自律」できる自分を目指し、目標の達成につなげていきましょう。

2学期は、1年間の中で最も登校日数が多い学期です。また、始まりのころは残暑が、終わりのころは寒さが厳しくなるなど、季節の移り変わりを大きく感じる学期でもあります。実り多き2学期とするために、1学期同様、学校教育目標である「生き抜く力を身につけ、自ら輝く生徒の育成」を目指して、教職員一丸となって教育活動を推進して参ります。

2学期も本校の教育活動に、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。